

2017年10月

各位

公益社団法人 新化学技術推進協会

## 第7回 新化学技術研究奨励賞 募集の件

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

公益社団法人 新化学技術推進協会では産学官交流連携活動の一環として、化学産業界が必要とする技術課題を設定し、その実現に貢献しうる新たな化学技術に関する研究の奨励を目的として、新化学技術研究奨励賞を贈呈しています。

第1回から昨年度の第6回まで、計73件の研究テーマに対して賞を授与いたしました。今般、第7回の募集を行いますので、奮ってご応募下さいますようお願い申し上げます。

本賞は、過去の成果・業績を表彰するものではなく、設定した課題を解決するためにこれから研究を行う魅力的な研究テーマを選定して賞を授与し、当該研究を奨励するものです。

研究課題は、当協会のフロンティア連携委員会の技術部会活動において得られた最先端技術情報に基づき、将来の化学産業として必要な新規技術について、環境分野、エネルギー・資源分野、電子情報分野、ライフサイエンス分野、先端化学・材料分野から11課題を設けています。

また、災害時の安全・安心の確保や被害の低減および復旧・復興に化学技術を通じて貢献することは化学産業の責務であると考え、特別課題を設定しています。

なお、応募資格として今後の発展が期待できる若手研究者(40歳未満)を対象としていますが、特別課題については緊急性および専門性の観点から今年度も年齢制限を設けないことといたしました。

応募方法につきましては、募集要項をご覧ください。申請書様式、課題の説明、およびこれまでの受賞例等につきましては、当協会のホームページ(<http://www.jaci.or.jp>)の“募集・表彰”の中の“新化学技術研究奨励賞”のページに掲載しておりますのでご参照願います。

また、研究奨励賞受賞後の研究に対して、切れ目の無い継続的な研究助成を行うことにより、研究成果の産業界への早期活用を図ることを目的に、研究奨励賞受賞後1年経過後から6年以内の受賞者を対象に、新化学技術研究奨励賞ステップアップ賞を設けています。

将来のステップアップ賞への応募も念頭に入れていただき、研究奨励賞にご応募ください。

敬具

# 募集要項

## 1. 研究課題

下記の研究課題から1つを選び、研究計画を作成して提出下さい。課題の説明は、協会ホームページにてご確認ください。

特別課題：化学技術により防災・減災および復旧・復興に貢献する研究

課題1：グリーンイノベーションを推進するための資源・プロセス・評価技術に関する環境技術の研究

課題2：新しい資源代替材料・技術の創製、および資源の節約・回収・再利用に関する基盤的研究（エネルギー資源、食料・水資源を含むものとする）

課題3：バイオマス由来製品の事業化課題を解決する革新的素材・技術に関する研究

課題4：創電・エネルギー貯蔵・省エネルギー分野における革新素材・技術に関する研究

課題5：エレクトロニクスの未来を支える新規材料・技術・プロセスに関する研究

課題6：マイクロナノシステム用途の拡大につながる新規な材料・プロセス及びデバイス技術に関する研究

課題7：高効率物質生産を目指した新規なバイオプロセスの構築に関する研究

課題8：生体分子を利用した、またはその構造と機能に着想した新規機能性材料の実用化を目指した研究

課題9：計算化学・計算科学・データ科学を用いた先導的な材料設計・解析・評価の研究

課題10：日本のものづくり強化と新産業創出に資する「新素材」実現のための基礎的・基盤的研究

課題11：次世代クリーンエネルギーとしての水素製造と利用促進に関する革新的触媒技術の研究

## 2. 応募資格

国内の大学またはこれに準ずる研究機関(大学共同利用機関、高等専門学校、公的研究機関)において研究活動に従事する方であって、2017年4月1日時点で満40歳未満の方に限ります。但し、特別課題については年齢制限を設けないこととします。

ポストドクター、研究員を含みますが、受賞後少なくとも1年間は応募テーマを研究できる方とします。学部および大学院の学生は含みません。研究場所は日本国内に限ります。

## 3. 応募方法

当協会ホームページの“新化学技術研究奨励賞”のページ

([http://www.jaci.or.jp/recruit/page\\_02\\_07\\_2018.html](http://www.jaci.or.jp/recruit/page_02_07_2018.html))からお申し込みください。

## 応募書類

### (1) 応募申請書(ファイル)

「応募申請書」は“新化学技術研究奨励賞”のページからダウンロードできます。

1. 研究計画 (A4 版で 3 頁程度)
2. 発表論文一覧  
(当該研究に関連し発表した論文の一覧表。すでに受理されているものや印刷中のものを含む主なもの 5 報以内)
3. 審査参考論文  
(2 の発表論文のうち、審査の参考になるとと思われる論文の代表的な論文 1 報の書誌事項をここに記載し、論文を別添する)
4. 略歴等
5. 他の研究助成の有無
6. 連絡先
7. 参考 (企業との共同研究希望の有無等)

### (2) 参考論文(ファイル)

(上記 3 の審査の参考になるとと思われる発表論文)

- 応募申請書は日本語で記載して下さい。
- 応募申請書のファイル名は、“課題番号-応募者氏名.doc”として下さい。  
例：“3-化学太郎.doc”、“特-化学太郎.docx”
- 参考論文のファイル名は、“課題番号-応募者氏名-参考論文.pdf”として下さい。  
例：“3-化学太郎-参考論文.pdf”

## 4. 募集期間

2017 年 11 月 22 日 (水) ～ 2018 年 1 月 15 日 (月) まで

## 5. 選考件数

各研究課題につき原則として 1 件

## 6. 助成金・使途

受賞者には、研究助成金として 1 件につき 100 万円を個人に対して贈呈し、研究目的であれば、使途は限定しません。

## 7. 条件

- (1) 受賞者は、2 年経過後にそれまでの研究経過のレポート(A4 用紙 2～3 枚程度)を提出して頂きます。レポートは当協会ホームページにて公開します。
- (2) 当協会の要請に応じ、研究経過・結果の報告会で説明を行って頂きます。
- (3) 研究成果のまとまりを得て投稿する論文については、本研究奨励賞による助成を受けている旨を記載すると共に、当協会に連絡して頂きます。

## 8. 選考

学識経験者からなる当協会の審査委員会にて審査の上、決定します。

審査は「課題適合性」「独創性/新規性」「実現性」「波及効果」の4項目を評価します。課題によっては新たな評価項目を追加する場合や重点評価項目を設定する場合があります。課題説明の「評価のポイント」欄に記載していますのでご確認ください。なお、重点評価項目は、一次審査において一定割合の加点を行う評価項目を示していますので、申請書を作成する上での参考にして下さい。

なお、選考の結果は2018年5月末までに公表すると共に、選出された各人に通知します。

5月末までに通知の無い場合は、該当せずと判断下さい（5月末日以降、必要に応じて、お問い合わせ下さい）。

## 9. 授与

2018年6月29日（金）（予定）に、当協会会議室において授賞式を開催し、賞を授与します。

## 10. その他

顕著な成果の挙げた研究については、当協会の講演会等で成果発表を行って頂くことがあります。

## 11. 新化学技術研究奨励賞ステップアップ賞について

研究奨励賞受賞者を継続的に助成するために、受賞後1年経過後から6年以内の方を募集対象に、新化学技術研究奨励賞ステップアップ賞を設けています。概要につきましては次頁を参照下さい。また、応募の詳細については対象者に別途ご案内いたします。

将来の新化学技術研究奨励賞ステップアップ賞への応募も念頭に入れていただき、研究奨励賞にご応募ください。

### 【問い合わせ先】

(公社)新化学技術推進協会 新化学技術研究奨励賞事務局  
〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル2F  
TEL：03-6272-6880 FAX：03-5211-5920  
e-Mail：jaciaward7@jaci.or.jp  
URL：http://www.jaci.or.jp/

以 上

## 2018 新化学技術研究奨励賞ステップアップ賞について

(公社)新化学技術推進協会では、化学産業から見た挑戦的・萌芽的な研究に対して新化学技術研究奨励賞を贈呈しています。

切れ目の無い継続的な研究助成を行うことにより、研究成果の産業界への早期活用を図り、我が国の化学産業の国際競争力の一層の強化を図るために、研究奨励賞受賞後の研究に対して新化学技術研究奨励賞ステップアップ賞を授与して研究助成を行います。

応募資格： 研究奨励賞受賞後 1 年経過後から 6 年以内の方で、研究奨励賞受賞テーマを発展させたテーマ、またはその関連テーマについての今後の研究構想・計画に関する応募であること。

国内の大学またはこれに準ずる研究機関に従事して、日本国内で研究を実施すること。

評価ポイント：化学産業界へのインパクト/学術的・社会的な意義

研究進捗実績

研究計画の妥当性と実現性 など

選考件数： 1 件/年 (該当無しもあり)

助成金・使途：300 万円以内。研究目的であれば使途は限定しない。

応募方法：2017 年 10 月下旬に対象者にメールでご案内すると共に、協会 HP にも掲載予定です。

